

## 1070 | デザインリサーチ II

2 単位（通信授業 1 単位、面接授業 1 単位）

田村裕教授、金子伸二教授、中尾早苗講師

## 授業の概要と目標

現在、私たちの住む都市は急激な変貌を遂げている。その中で、変わらない本質的なものを発見するとともに、その背景を理解する必要がある。

デザインリサーチ II では、都市景観に関する問題を多角的に捉えるとともに、街並み景観調査を切り口として都市景観のあり方を分析・考察し、各自の「見方」を構築することを目的としている。

## 課題の概要

## ○面接授業課題

「街並み景観調査—過去・現在・未来—1」

過去とは自身の生育地、現在とは今の居住地、未来とは今後住んでみたい街を選び、街並み景観調査を行う。面接授業では、次の通信授業課題での本調査を行う前に各自のテーマを設定し、調査の目的、調査の方法等を考察して、A3 用紙 3 枚程度にまとめ発表する。事前準備として 3 地区の写真、概要等の資料を収集しておく。テーマ、未来の街の選定方法等については、各自に合わせて指導する。面接授業を通して多様な捉え方、プレゼンテーションの方法を学ぶ。

## ○通信授業課題

「街並み景観調査—過去・現在・未来—2」

面接授業課題に基づいて通信授業課題では 3 地区の本調査を行い、各地区の特徴を捉え比較する方法を学ぶ。まとめでは、自身の街の「見方」を考察しよう。街並みは多様な構成要素の集合体であり、調査結果からは気付きや発見が得られるであろう。

\*課題については学習指導書『デザインリサーチ I・II 平成 29 年度』を必ず参照すること。

## 授業計画



面接授業課題に合格してから通信授業課題へ進みます。

## [面接授業]

事前の準備（3 地区の写真、概要、資料収集等）。

第 1 日 前提講義、課題説明、制作

第 2 日 制作、発表及び講評

○LP オンラインプラス [準備] —面接授業参考資料ダウンロード

Web キャンパス学生メニューの【ネットフォーラム】にて面接授業参考資料をダウンロード配付する。

## [通信授業]

教科書の「デザインリサーチ II」の第 3 章「中央線沿線の街並み景観調査」、第 4 章「歴史性、地域性から見た街並み景観調査」及び、学習指導書の参考作品 6、7、8 を参照すること。

## 成績評価の方法

面接授業、通信授業における課題作品を総合評価する。

## 履修条件及び履修年次

[履修年次] 2 年次

[履修条件] 「デザインリサーチ I」の単位を修得しているか、同時に履修登録すること。

[備 考] 芸術文化学科造形研究コース・文化支援コース指定科目。

造形研究コース・文化支援コース進学希望者は 2 年次に履修すること。造形研究コース・文化支援コース 3 年次編入学生は必修ではないが、履修することが望ましい。

「デザインリサーチ I」を同時に履修する場合は、「デザインリサーチ I」のスクーリングを先に受講すること。

スクーリング時に、受講人数を制限する場合がある（造形研究コース・文化支援コース進学希望者を除く）。

オンラインプラス（Web 上で行う面接授業補助プログラム）を受講する場合は、インターネットに接続できる環境が必要となる。

## 教材等

教科書：田村裕、白井新太郎、中尾早苗著『デザインリサーチ』（武蔵野美術大学出版局 2002 年）

学習指導書：『デザインリサーチ I・II 平成 29 年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）